

令和6年度 事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

ごあいさつ

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会
会 長 三 宅 泉

定時会員総会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

十年一昔と申しますが、皆様は 10 年前に「10 年後のスイミングクラブはどうなっている」と想像されたでしょうか？コロナ禍でマスクをしながら水泳指導をする日が来ることや、学校の水泳授業がクラブで行われる日が来るなんてことを想像していたでしょうか？時代は少しずつ、時には大きなうねりをもって変化していきます。世の中を見回してもこの 10 年で様々なことが大きく変わっていきました。温室効果ガスは 40 度超えの夏を呼び、サラリーマンからネクタイを奪い、沢山のネクタイ工場を苦境に追いやりました。スマホは通勤・通学の電車から本を読む人を奪い、街々の本屋は減少の一途を辿っています。人手不足はファミリーレストランでの配膳ロボット、コンビニ店員は外国人労働者、無人精算機に置き換わっています。アメリカのオックスフォード大学では、今後 10～20 年の間にロボットや AI に 47% の仕事が代替されると予測しています。事務仕事やフロント業務はもちろん、中にはコックや漁師なんかも代替されるリスクが高いそうです。

ここでスイミングクラブの 10 年後を想像してみましょう。バスドライバーは自動運転となり、フロントには通るだけで血圧・脈拍・健康状態がわかるゲートがあり、プールサイドでは正しい泳法を指摘する指導ロボットが常駐し、AI が溺水者を探知すれば自動的に天井から浮き輪が落ちてくる、そんなプールが出てくるかも知れません。経営者は AI に置き換わることで給与の発生を抑えられると喜ぶかもしれません。その経営者すら AI に置き換わる可能性もありますが・・・。

おそらく、そんな未来は来ないでしょう。何故ならお客さんにとってはつまらないからです。当たり前ですがお客さん無しではクラブは成り立ちません。では、何が楽しくてお客さんはプールに通うのでしょうか？泳ぎが上手になってコーチに褒められて嬉しくなったり、仲間同士で競争して熱くなったり、友達を作って笑い話をしたりすることではないのでしょうか？未来を想像するにあたり、行きつくのはスイミングの原点であり、「笑顔溢れるクラブづくり」にこそ、スイミングの未来があると言えます。オックスフォード大学によれば、「コミュニケーション能力」を必要とする仕事はなくなりづらいそうです。もちろん、時代に合わせていくことも求められますが、核の部分は大事に守っていくべきではないでしょうか。何かと世知辛い世の中ではありますが、経営者・コーチには能面のような表情でロボットのような業務をするのではなく、人と人の繋がりを大事にして、スイミングクラブ事業、ひいては業界の発展へ繋げていただきたいと思います。

結びとなりますが、会員の皆様方の事業が繁栄されますことを念頭に協会運営をして参りたいと思いますので、今後とも宜しくご指導・ご協力をお願い申し上げます。定時会員総会のご挨拶とさせていただきます。

令和6年度実施事業

1. 主要会議

(1) 総 会

- 令和6年度定時総会 令和06年06月11日 於：東京ドームホテル
 - ・令和5年度事業報告並びに収支決算を承認
 - ・令和5年度泳力認定推進事業登録クラブを表彰（授賞式割愛）
（優秀クラブ賞103クラブ、最優秀クラブ賞126クラブ、特別賞A賞6クラブ、特別賞B賞11クラブ）
 - ・第30回全国表彰（優良指導者・優秀コーチ・功労者表彰）
（優良指導者：金賞19名・銀賞19名・銅賞31名、優秀コーチ0名、功労者4名）
- 令和6年度臨時総会 令和07年03月13日開催 於：ホテルメトロポリタンエドモント
 - ・令和7年度事業計画並びに収支予算を報告

(2) 理事会

- 令和6年度第1回理事会 令和06年05月16日 於：にぎたつ会館会議室
 - ・令和5年度事業報告並びに収支決算を承認
 - ・新規入会の承認（正会員2社、登録クラブ3クラブ、賛助会員1社）
 - ・令和6年度定時総会開催並びに議案に関する件の承認
 - ・第30回全国表彰者の承認
 - ・安全水泳委員選任について
 - ・マスターズSF体力測定データ公表の件
 - ・事務局移転について
- 令和6年度第2回理事会 令和06年10月11日開催 於：海峡ビューしものせき
 - ・令和6年度中間収支状況の承認
 - ・新規入会の承認（賛助会員1社）
 - ・任期満了に伴う令和7年度役員の選任について
- 令和6年度第3回理事会 令和07年01月16日開催 於：東京ドームホテル
 - ・令和7年度事業計画及び予算案の検討
 - ・新規入会の承認（正会員1社、登録クラブ1クラブ、賛助会員1社）
 - ・令和6年度臨時総会開催並びに議案に関する件の承認
 - ・「信越支部規則」一部改定について
 - ・救急蘇生法適任者資格の取得要件改定の件
 - ・安全水泳アンケートデータ公表の件
 - ・「ブロック対抗」時の肩関節検診データ公表の件
- 令和6年度第4回理事会 令和07年03月13日開催 於：ホテルメトロポリタンエドモント
 - ・令和7年度事業計画及び予算案を承認
 - ・新規入会の承認（申請無し）
 - ・安全水泳管理者在籍施設の承認（1クラブ）
 - ・研究倫理綱領策定について

(3) 決議省略理事会（電子決議）

- 令和6年度 第1回 [令和06年08月01日 承認]
 - ・経営委員変更の件
 - ・新規入会の承認（登録クラブ1クラブ、賛助会員2社）

2. 各専門委員会実施事業

* 指導力向上委員会

(1) 委員会

- 第1回委員会 令和 06 年 04 月 22 日開催 於：文京シビックセンター
- 第1回 SC 協・日本水泳連盟合同検定委員会 令和 06 年 04 月 22 日開催
於：文京シビックセンター
- 第2回委員会 令和 06 年 10 月 28 日開催 於：千代田区民会館
- 第2回 SC 協・日本水泳連盟合同検定委員会 令和 06 年 10 月 28 日開催
於：千代田区民会館
- 第3回委員会 令和 07 年 02 月 26 日開催 於：NPD 貸会議室

(2) 実施事業

- ストレス予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和 06 年 04 月 27 日～28 日開催 於：シュアステイプラスホテル・スペックスイミング
クラブ 参加者：07 名
- 内科的疾患予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和 06 年 06 月 29 日～30 日開催 於：ふれあい貸し会議室五反田・ミミスイミングクラ
ブ 参加者：35 名
- 全国水泳指導者特別研修会 令和 06 年 06 月 16 日開催 於：明治大学リバティタワー
参加者：103 名
- アクアフィットネス・アクアダンスインストラクター全国研修会 令和 06 年 07 月 07 日
開催 於：ふれあい貸し会議室五反田・ミミスイミングクラブ 参加者：39 名
- アクアダンスインストラクター資格取得講習会 令和 06 年 07 月 20 日～21 日開催
於：ミルクスタジオ秋葉原・東京マリン舎人スイミング 参加者：05 名
- 循環器系疾患予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和 06 年 09 月 14 日～15 日開催 於：シュアステイプラスホテル・スペックスイミング
クラブ参加者：14 名
- 整形外科の疾患予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和 06 年 11 月 16 日～17 日開催 於：ふれあい貸し会議室五反田・ミミスイミングクラブ
参加者：20 名
- 転倒・寝たきり予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和 07 年 02 月 08 日～09 日開催 於：シュアステイプラスホテル・スペックスイミング
クラブ 参加者：19 名
- 肥満予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和 07 年 03 月 15 日～16 日開催 於：ふれあい貸し会議室秋葉原・東京マリン舎人スイミ
ング 参加者：29 名

* 事業企画委員会

(1) 委員会

- 第1回委員会 令和 06 年 05 月 20 日開催 於：本部事務局
- 第2回委員会 令和 06 年 10 月 12 日開催 於：山口きらら博記念公園水泳プール会議室
- 第3回委員会 令和 07 年 02 月 03 日開催 於：本部事務局

(2) 実施事業

- 第45回 JSCA ブロック対抗水泳競技大会 令和 06 年 10 月 12 日～13 日開催
於：山口きらら博記念公園水泳プール
参加者：532 名（個人：1,029 種目・リレー：165 種目・マルチクラス：34 種目）
- 「JSCA クイーンズランドオープン遠征」引率者会議 令和 06 年 11 月 13 日開催
於：本部事務局
- 第21回 JSCA クイーンズランドオープン遠征選手団派遣 令和 06 年 12 月 12 日～22 日
於：プリズベンアクアティックセンター
- 第51回 JSCA 新年フェスティバル水泳競技大会 令和 07 年 01 月 05 日～26 日開催
全国 22 会場で開催 参加者：851 チーム・個人 16,464 名

- (個人：41,336 種目・リレー：2,439 種目)
- 第 30 回 JSCA マスターズ水泳通信記録会 令和 07 年 01 月 01 日～02 月 28 日
各加盟登録クラブで開催 参加者：105 クラブ・個人 862 名（個人：1,195 種目）
 - 第 47 回 JSCA 全国マスターズスイミングフェスティバル 令和 07 年 03 月 08 日～09 日開催
於：宮城県総合運動公園総合プール（セントラルスポーツ宮城 G21 プール）
参加者：401 名（個人：898 種目・リレー：92 種目）
 - グリコチャレンジスイム 2024 第 14 回 JSCA 全国知的障害者水泳競技大会 運営協力
令和 06 年 12 月 15 日開催 於：長野運動公園総合運動場総合市民プール アクアウイング
 - ジュニアオリンピックカップ派遣研修（夏季） 派遣日：令和 06 年 08 月 20 日～26 日
於：東京アクアティクスセンター 参加者：06 名
 - ジュニアオリンピックカップ派遣研修（春季） 派遣日：令和 07 年 03 月 25 日～30 日
於：東京アクアティクスセンター 参加者：06 名
 - （公財）日本水泳連盟 環境保全活動「水着衣類回収 WEAR to FASHION」実施協力

* 安全水泳委員会

(1) 委員会

- 第 1 回委員会 令和 06 年 05 月 13 日開催 於：本部事務局
- 第 2 回委員会 令和 06 年 11 月 11 日開催 於：本部事務局
- 第 3 回委員会 令和 07 年 02 月 17 日開催 於：本部事務局

(2) 実施事業

- 安全水泳法管理者資格取得講習会
 - ①令和 06 年 08 月 16 日～17 日 於：サギヌマススイミングクラブ宮前平 参加者：02 名
 - ②令和 06 年 10 月 29 日～30 日 於：福岡スイミングクラブ 参加者：18 名
- JSCA プール管理責任者並びにプール衛生管理者講習会
 - ①令和 06 年 05 月 25 日～26 日開催 於：東海 土田地区センター 参加者：07 名
 - ②令和 06 年 06 月 15 日～16 日開催 於：九州 大博多ビル 参加者：32 名
 - ③令和 06 年 06 月 22 日～23 日開催 於：北陸 金沢勤労者プラザ 参加者：09 名
 - ④令和 06 年 07 月 12 日～13 日開催 於：関東 測量年金会館 参加者：12 名
 - ⑤令和 06 年 10 月 19 日～20 日開催 於：近畿 城星学園サンタマリア SS 参加者：07 名
- クラブ内事故調査アンケート実施

* 泳力認定委員会

(1) 委員会

- 第 1 回委員会 令和 06 年 04 月 25 日開催 於：金沢勤労者プラザ
- 第 2 回委員会 令和 06 年 10 月 12 日開催 於：KDDI 維新ホール会議室
- 第 3 回委員会 令和 07 年 02 月 07 日開催 於：本部事務局

(2) 実施事業

- 泳力認定会および段位の認定を各登録クラブにて開催
- 泳力認定員資格取得講習会及び更新講習会を各支部に於いて開催
 - 北海道支部・令和 06 年 09 月 15 日
 - 東北支部・令和 06 年 11 月 17 日・11 月 24 日
 - 関東支部・令和 06 年 05 月 10 日・11 月 08 日
 - 信越支部・令和 06 年 04 月 21 日・11 月 17 日
 - 北陸支部・令和 06 年 10 月 24 日
 - 東海支部・令和 06 年 05 月 19 日
 - 近畿支部・令和 06 年 05 月 14 日・10 月 22 日
 - 中国支部・令和 06 年 09 月 10 日
 - 四国支部・令和 07 年 03 月 02 日
 - 九州支部・令和 06 年 05 月 29 日
 - オンライン更新講習会・令和 06 年 05 月 24 日・09 月 10 日・11 月 20 日・令和 07 年 01 月 20 日・03 月 04 日
- 特別認定の実施

- ①令和 06 年 10 月 12 日～13 日 第 45 回 JSCA ブロック対抗水泳競技大会
於：山口きらら博記念公園水泳プール
- ②令和 06 年 12 月 15 日 グリコチャレンジスイム 2024 第 14 回 JSCA 全国知的障害者水泳
競技大会 於：長野運動公園総合運動場総合市民プール（アクアウイング）
- ③令和 07 年 03 月 08 日～09 日 第 47 回 JSCA 全国マスターズスイミングフェスティバル
於：宮城県総合運動公園総合プール（セントラルスポーツ宮城 G21 プール）
- 泳力認定事業の啓発活動の実施
- 泳力認定事業推進登録クラブ表彰 令和 06 年 06 月 11 日開催
於：総会会場
- 第 25 回ベストスイマー2024 表彰式典 令和 06 年 06 月 11 日開催
於：総会会場
- ゴールドマスターズスイマー称号付与事業 令和 06 年 04 月 01 日～令和 07 年 03 月 31 日

*** 健康スポーツ医科学委員会**

(1) 委員会

- 令和 07 年 01 月 16 日開催 於：東京ドームホテル

(2) 実施事業

- JSCA 電子かわら版（毎月 10 日・25 日発行）
- 肩関節障害サポート検診 令和 06 年 10 月 12 日～13 日開催
於：山口きらら博記念公園水泳プール
- マスターズ S F 体力測定事業 令和 07 年 03 月 08 日～09 日開催
於：宮城県総合運動公園総合プール（セントラルスポーツ宮城 G21 プール）

*** 障害者水泳委員会**

(1) 委員会

- 第 1 回小委員会 令和 06 年 04 月 09 日開催 於：オンライン会議
- 第 2 回小委員会 令和 06 年 04 月 11 日開催 於：オンライン会議
- 第 1 回委員会 令和 06 年 06 月 12 日開催 於：本部事務局
- 第 2 回委員会 令和 06 年 11 月 14 日開催 於：本部事務局
- 第 3 回委員会 令和 07 年 02 月 11 日開催 於：アットビジネスセンター PREMIUM 新大阪

(2) 実施事業

- 第 45 回 JSCA ブロック対抗水泳競技大会マルチクラスレース協力
令和 06 年 10 月 12 日～13 日開催 於：山口きらら博記念公園水泳プール
参加者：18 名（パラ：08 名・知的：05 名・デフ：01 名）
- グリコチャレンジスイム 2024 第 14 回 JSCA 全国知的障害者水泳競技大会
令和 06 年 12 月 15 日開催 於：長野運動公園総合運動場総合市民プール（アクアウイング）
参加者：75 チーム・個人 280 名（個人：799 種目・リレー：22 種目）
- JSCA 障害者水泳指導者研修会
令和 06 年 11 月 24 日開催 於：邦和セミナープラザ会議室・邦和みなとスイミングスクール
参加者：06 名
- JSCA 障害者水泳指導者オンライン座談会
 - ①令和 06 年 05 月 21 日開催 参加者：12 名
 - ②令和 06 年 11 月 05 日開催 参加者：14 名
 - ③令和 07 年 01 月 21 日開催 参加者：04 名
- JSCA 障害者水泳指導者オンライン講演会
令和 06 年 12 月 10 日開催 参加者：40 名

*** 経営委員会**

(1) 委員会

- 第 1 回委員会 令和 06 年 04 月 18 日開催 於：本部事務局
- 第 2 回委員会 令和 06 年 08 月 26 日開催 於：ホテルブエナビスタ

○第3回委員会 令和06年10月21日開催 於：ホテルブエナビスタ

(2) 実施事業

○第38回全国トップマネジメントセミナー 令和06年10月22日～23日

於：ホテルブエナビスタ

○業界動向調査アンケート実施

* **総務委員会**

(1) 委員会

○第1回委員会 令和06年05月20日開催 於：本部事務局

○第2回委員会 令和07年01月27日開催 於：本部事務局

(2) 実施事業

○主要会議の開催と円滑な運営

○事業報告・収支決算の策定取まとめ

○功労者・優秀コーチ・優良指導者表彰

○SC協ニュースの発行 第238号～243号6部発行

○タイアップポスター実施

令和06年07月01日～08月31日「逃走中 THE MOVIE」

令和06年07月16日～08月15日「インサイド・ヘッド2」

令和06年08月01日～08月31日「数学検定」

令和06年11月15日～12月14日「モアナと伝説の海 2/ライオン・キング：ムファサ」

令和06年11月28日～12月27日「劇場版 忍たま乱太郎」

令和07年02月24日～03月25日「白雪姫」

* **5 委員会合同会議** (特別会議)

(1) 合同会議

○第1回委員長会議 令和06年05月15日開催 於：ホテルサンルート松山

○第2回委員長会議 令和07年01月15日開催 於：本部事務局 (中止)

* **組織検討委員会** (特別委員会)

(1) 委員会

○第1回委員会 令和06年11月20日開催 於：新大阪ワシントンホテルプラザ

第14期 収支決算報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

2025/6/24

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から

令和 7年 3月31日まで

(単位:円)

	当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基金収入	(0)	(0)	(0)
② 会費収入	(57,427,800)	(58,334,600)	(-906,800)
正会員会費収入	10,881,600	11,096,600	-215,000
登録クラブ年会費収入	41,146,400	41,729,800	-583,400
賛助会員年会費収入	4,999,800	4,908,200	91,600
入会金収入	400,000	600,000	-200,000
③ 事業収入	(176,231,470)	(154,527,786)	(21,703,684)
指導力向上(委)	3,486,660	3,998,830	-512,170
事業企画(委)	88,629,922	84,709,061	3,920,861
安全水泳(委)	1,801,822	2,087,420	-285,598
泳力認定(委)	76,121,741	58,075,887	18,045,854
健康スポーツ医科学(委)	0	0	0
障害者水泳(委)	2,369,200	1,839,990	529,210
経 営(委)	2,277,000	1,771,000	506,000
総 務(委)	1,545,125	2,045,598	-500,473
組織検討(委)他	0	0	0
④ 負担金収入	(5,728,625)	(4,597,125)	(1,131,500)
認定登録料	5,728,625	4,597,125	1,131,500
水泳教師	[3,550,625]	[2,733,125]	[817,500]
水泳インストラクター	[313,000]	[289,000]	[24,000]
アクアフィットネス	[480,000]	[380,000]	[100,000]
アクアダンス	[105,000]	[145,000]	[-40,000]
メディカルアクア	[170,000]	[205,000]	[-35,000]
安全水泳法	[1,110,000]	[845,000]	[265,000]
指導者登録	[0]	[0]	[0]
認定証料	[0]	[0]	[0]
印刷物頒布収入	0	0	0
⑤ 協賛金収入	(9,125,000)	(9,125,000)	(0)
⑥ 寄付金収入	(0)	(0)	(0)
⑦ 雑収入	(4,532,284)	(4,480,456)	(51,828)
受取利息	43,330	2,025	41,305
SC保険事務費	4,488,954	4,478,431	10,523
事務受託料	0	0	0
雑収入	0	0	0
経常収益計	253,045,179	231,064,967	21,980,212

	当年度	前年度	増減
(2) 経常費用			
① 事業費	(184,260,898)	(174,228,229)	(10,032,669)
交付金	20,593,200	20,804,900	-211,700
指導力向上(委)	7,568,451	6,662,763	905,688
事業企画(委)	100,768,270	95,139,767	5,628,503
安全水泳(委)	3,693,556	4,559,294	-865,738
泳力認定(委)	32,426,395	26,155,348	6,271,047
健康スポーツ医科学(委)	261,320	180,800	80,520
障害者水泳(委)	4,542,204	4,393,063	149,141
経 営(委)	5,315,460	5,328,032	-12,572
総 務(委)	8,984,549	10,920,392	-1,935,843
組織検討(委)他	107,493	83,870	23,623
② 管理費	(59,896,119)	(58,732,022)	(1,164,097)
給与・手当	18,382,817	18,690,875	-308,058
賞与	4,238,900	3,992,170	246,730
雑給	1,644,129	1,841,632	-197,503
通勤手当	1,182,620	974,860	207,760
法定福利費	3,907,220	3,348,439	558,781
福利厚生費	31,077	43,841	-12,764
総会費	2,319,266	2,623,906	-304,640
理事会費	3,950,282	4,648,748	-698,466
慶弔費	173,600	111,300	62,300
事務用品費	2,772,459	1,850,404	922,055
旅費交通費	932,385	1,151,234	-218,849
賃借料	5,512,203	5,095,197	417,006
システム保守料	1,716,000	1,716,000	0
水道光熱費	383,132	234,678	148,454
通信費	2,348,211	3,174,701	-826,490
印刷費	105,998	110,187	-4,189
支払手数料	445,280	310,508	134,772
会議費	417,442	527,131	-109,689
消耗品費	0	0	0
SC保険事務費	2,673,934	2,683,274	-9,340
租税公課	70,000	70,000	0
消費税	3,487,600	3,424,000	63,600
減価償却費	347,187	792,000	-444,813
退職給付費用	796,400	876,000	-79,600
事務所移転費用	1,427,860	0	1,427,860
雑費	630,117	440,937	189,180
経常費用計	244,157,017	232,960,251	11,196,766
当期経常増減額	8,888,162	-1,895,284	10,783,446
2 経常外増減の部			
(1) 経常外費用			
震災寄付金	1,000,000	0	1,000,000
当期経常外増減額	-1,000,000	0	-1,000,000
当期一般正味財産増減額	7,888,162	-1,895,284	9,783,446
一般正味財産期首残高	150,960,646	152,855,930	-1,895,284
一般正味財産期末残高	158,848,808	150,960,646	7,888,162
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	158,848,808	150,960,646	7,888,162

貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	2,520,050	2,149,245	370,805
普通預金	95,363,069	96,109,680	-746,611
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
貯蔵品	120,000	120,000	0
未収金	2,665,961	2,164,663	501,298
流動資産計	150,669,080	150,543,588	125,492
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
退職引当預金	5,569,900	4,773,500	796,400
(3) その他の固定資産			
建物附属設備	1,164,614	1	1,164,613
ソフトウェア	0	264,000	-264,000
電話加入権	240,621	240,621	0
敷金	3,092,250	742,560	2,349,690
その他固定資産計	4,497,485	1,247,182	3,250,303
固定資産計	30,067,385	26,020,682	4,046,703
資産合計	180,736,465	176,564,270	4,172,195
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,366,717	110,000	1,256,717
預り金	14,951,040	20,720,124	-5,769,084
流動負債計	16,317,757	20,830,124	-4,512,367
2 固定負債			
退職給付引当金	5,569,900	4,773,500	796,400
固定負債計	5,569,900	4,773,500	796,400
負債合計	21,887,657	25,603,624	-3,715,967
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産へ充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	158,848,808	150,960,646	7,888,162
(うち基本財産へ充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	158,848,808	150,960,646	7,888,162
負債正味財産合計	180,736,465	176,564,270	4,172,195

財 産 目 録

令和 7年 3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額	
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金	手許有高	2,520,050	
普通預金	三菱UFJ銀行江戸川橋支店	47,512,014	
	三菱UFJ銀行神保町支店	47,570,476	
	商工中金 新宿支店	280,579	
定期預金	商工中金 新宿支店	50,000,000	
貯蔵品	バッチ、ワッペン	120,000	
未収金	江崎グリコ(株)協賛金	2,000,000	
	ブロック対抗・マスターズF還付金	465,961	
	総務タイアップ手数料	200,000	
	流動資産計		150,669,080
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	商工中金 新宿支店	20,000,000	
(2) 特定資産			
退職引当預金	三菱UFJ銀行江戸川橋支店	5,569,900	
(3) その他の固定資産			
建物附属設備		1,164,614	
ソフトウェア	泳力システム他	0	
電話加入権		240,621	
敷金	喜助内神田ビル	3,092,250	
	その他固定資産計	4,497,485	
	固定資産計		30,067,385
	資産合計		180,736,465
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	全国総会費	1,260,803	
	誤入金他	105,914	
預り金	次年度年会費	14,803,300	
	源泉税	94,440	
	住民税	53,300	
	流動負債計		16,317,757
2 固定負債			
退職給付引当金	職員分	5,569,900	
	固定負債計		5,569,900
	負債合計		21,887,657
	正味財産合計		158,848,808

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載をしている。

2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,773,500	796,400	0	0	5,569,900

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年12月1日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)を採用している。

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

移動平均法による原価法を採用している。

(2)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法を採用している。

(3)引当金の計上基準

退職給付引当金

役員及び職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付要支給額を計上している。

(4)リース取引の処理方法

取得したリース物件の価額に重要性が乏しいため、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
退職引当預金	4,773,500	796,400	0	5,569,900
小計	4,773,500	796,400	0	5,569,900
合計	24,773,500	796,400	0	25,569,900

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、つぎのとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	—	(20,000,000)	—
小計	20,000,000	—	(20,000,000)	—
特定資産				
退職引当預金	5,569,900	—	—	(5,569,900)
小計	5,569,900	—	—	(5,569,900)
合計	25,569,900	—	(20,000,000)	(5,569,900)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
附 属 設 備	1,247,800	83,187	1,164,613
ソフトウェア	12,360,000	12,360,000	0
合 計	13,607,800	12,443,187	1,164,613

5. 関連当事者との取引の内容

該当する取引はない。

収 支 計 算 書

令和 6年 4月 1日から

令和 7年 3月31日まで

(単位:円)

	予算額	決算額	差異	予算執行率
	(A)	(B)	(A-B)	
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
①基金収入	(0)	(0)	(0)	(-)
②会費収入	(59,060,000)	(57,427,800)	(1,632,200)	(97.2%)
正会員会費収入	11,020,000	10,881,600	138,400	-
登録クラブ年会費収入	41,440,000	41,146,400	293,600	99.3%
賛助会員年会費収入	6,000,000	4,999,800	1,000,200	83.3%
入会金収入	600,000	400,000	200,000	66.7%
③事業収入	(184,837,000)	(176,231,470)	(8,605,530)	(95.3%)
指導力向上(委)	6,677,000	3,486,660	3,190,340	52.2%
事業企画(委)	88,180,000	88,629,922	-449,922	100.5%
安全水泳(委)	2,255,000	1,801,822	453,178	79.9%
泳力認定(委)	81,412,000	76,121,741	5,290,259	93.5%
健康スポーツ医科学(委)	0	0	0	-
障害者水泳(委)	1,923,000	2,369,200	-446,200	123.2%
経 営(委)	2,070,000	2,277,000	-207,000	110.0%
総 務(委)	2,320,000	1,545,125	774,875	66.6%
組織検討(委)他	0	0	0	-
④負担金収入	(7,350,000)	(5,728,625)	(1,621,375)	77.9%
認定登録料	7,350,000	5,728,625	1,621,375	77.9%
水泳教師	[3,500,000]	[3,550,625]	[-50,625]	101.4%
水泳インストラクター	[600,000]	[313,000]	[287,000]	52.2%
アクアフィットネス	[1,200,000]	[480,000]	[720,000]	40.0%
アクアダンス	[150,000]	[105,000]	[45,000]	70.0%
メディカルアクア	[200,000]	[170,000]	[30,000]	85.0%
安全水泳法	[1,700,000]	[1,110,000]	[590,000]	65.3%
指導者登録	[0]	[0]	[0]	-
認定証料	[0]	[0]	[0]	-
印刷物頒布収入	0	0	0	-
⑤協賛金収入	(9,000,000)	(9,125,000)	(-125,000)	(101.4%)
⑥寄付金収入	(0)	(0)	(0)	(-)
⑦雑収入	(4,570,000)	(4,532,284)	(37,716)	(99.2%)
受取利息	20,000	43,330	-23,330	216.7%
SC保険事務費	4,500,000	4,488,954	11,046	99.8%
事務受託料	0	0	0	-
雑収入	50,000	0	50,000	0.0%
事業活動収入計	264,817,000	253,045,179	11,771,821	95.6%

	予算額	決算額	差異	予算執行率
2事業活動支出				
①事業費支出	(184,266,000)	(184,260,898)	(5,102)	(100.0%)
交付金	20,720,000	20,593,200	126,800	99.4%
指導力向上(委)	6,709,000	7,568,451	-859,451	112.8%
事業企画(委)	92,490,000	100,768,270	-8,278,270	109.0%
安全水泳(委)	3,325,000	3,693,556	-368,556	111.1%
泳力認定(委)	38,670,000	32,426,395	6,243,605	83.9%
健康スポーツ医科学(委)	1,850,000	261,320	1,588,680	14.1%
障害者水泳(委)	5,462,000	4,542,204	919,796	83.2%
経営(委)	5,270,000	5,315,460	-45,460	100.9%
総務(委)	9,500,000	8,984,549	515,451	94.6%
組織検討(委)他	270,000	107,493	162,507	39.8%
②管理費支出	(59,250,000)	(59,752,532)	(-502,532)	(100.8%)
給与・手当支出	17,500,000	18,382,817	-882,817	105.0%
賞与支出	4,300,000	4,238,900	61,100	98.6%
退職金支出	0	0	0	-
雑給支出	1,500,000	1,644,129	-144,129	109.6%
通勤手当支出	1,000,000	1,182,620	-182,620	118.3%
法定福利費支出	3,200,000	3,907,220	-707,220	122.1%
福利厚生費支出	100,000	31,077	68,923	31.1%
總會費支出	2,500,000	2,319,266	180,734	92.8%
理事会費支出	3,500,000	3,950,282	-450,282	112.9%
慶弔費支出	500,000	173,600	326,400	34.7%
事務用品費支出	1,500,000	2,772,459	-1,272,459	184.8%
旅費交通費支出	1,550,000	932,385	617,615	60.2%
賃借料支出	7,000,000	5,512,203	1,487,797	78.7%
システム保守料支出	1,700,000	1,716,000	-16,000	100.9%
水道光熱費支出	300,000	383,132	-83,132	127.7%
通信費支出	4,500,000	2,348,211	2,151,789	52.2%
印刷費支出	300,000	105,998	194,002	35.3%
支払手数料支出	300,000	445,280	-145,280	148.4%
会議費支出	800,000	417,442	382,558	52.2%
消耗品費支出	300,000	0	300,000	0.0%
SC保険事務費支出	3,100,000	2,673,934	426,066	86.3%
租税公課支出	0	70,000	-70,000	-
消費税支出	2,800,000	3,487,600	-687,600	124.6%
事務所移転支出	0	1,427,860	-1,427,860	-
震災寄付金支出	0	1,000,000	-1,000,000	-
雑費支出	1,000,000	630,117	369,883	63.0%
事業活動支出計	243,516,000	244,013,430	-497,430	100.2%
事業活動収支差額	21,301,000	9,031,749	12,269,251	42.4%
Ⅱ投資活動支出				
敷金返還収入	0	742,560	-742,560	-
投資活動収入計	0	742,560	-742,560	-
固定資産取得支出	0	4,340,050	-4,340,050	-
退職引当預金支出	633,000	796,400	-163,400	125.8%
投資活動支出計	633,000	5,136,450	-4,503,450	811.4%
投資活動収支差額	-633,000	-4,393,890	3,760,890	694.1%
Ⅲ予備費支出	0	0	0	-
当期収支差額	20,668,000	4,637,859	16,030,141	
前期繰越収支差額	135,677,000	129,593,464	6,083,536	
次期繰越収支差額	156,345,000	134,231,323	22,113,677	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、貯蔵品を除く流動資産及び流動負債を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目		前期末残高	当期末残高
現	金	2,149,245	2,520,050
普 通	預 金	96,109,680	95,363,069
定 期	預 金	50,000,000	50,000,000
未	収 金	2,164,663	2,665,961
	合 計	150,423,588	150,549,080
未	払 金	110,000	1,366,717
預	り 金	20,720,124	14,951,040
	合 計	20,830,124	16,317,757
次期繰越収支差額		129,593,464	134,231,323

委員会別収支計算書

令和 6年 4月 1日～令和 7年 3月31日

(単位:円)

	指導力向上	事業企画	安全水泳	泳力認定	健康スポーツ 医科学	障害者水泳	経 営	総 務	合計
収入の部									
参加収入	3,071,640	70,539,970	1,537,030	76,121,741		1,985,000	2,277,000		155,532,381
広告収入		3,982,000				22,000		1,451,000	5,455,000
教本・指導本	353,420	-							353,420
プログラム売上		9,397,550				305,000			9,702,550
協賛金・助成金		1,665,693							1,665,693
記録証・終了証		228,965							228,965
在籍施設認定料	61,600	-	20,000						81,600
通信記録会		1,528,850							1,528,850
備品販売・貸出		21,980	228,292			57,200		94,125	401,597
支部負担金		-							-
その他		1,264,914	16,500						1,281,414
収入合計	3,486,660	88,629,922	1,801,822	76,121,741	0	2,369,200	2,277,000	1,545,125	176,231,470
支出の部									
委員会費	1,114,359	686,210	1,082,982	1,326,413		731,100	1,651,145	710,932	7,303,141
会場費	1,353,761	13,184,142	390,768	30,321		206,720	1,789,638		16,955,350
会議費	54,681	1,918,272							1,972,953
印刷費	731,981	6,166,503	218,075	5,005,880			161,865	5,679,300	17,963,604
役務費		16,262,371	25,400	5,000	12,000	234,000			16,538,771
表彰費		10,155,007		4,569,887		443,854		1,375,110	16,543,858
通信費	1,172,176	778,163	732,821	2,789,762		313,519	248,132	903,240	6,937,813
旅費宿泊費	559,935	20,239,344	254,517	568,450	139,820	1,181,480	857,680	68,900	23,870,126
広告料									-
保険料		342,820				16,180		186,280	545,280
講師謝金	1,918,524		746,655	398,651		220,582	607,000		3,891,412
懇親会費	183,133	1,841,452	11,130	154,260	9,500	293,000			2,492,475
飲食代	107,221	1,077,578	30,642			133,445			1,348,886
消耗品		875,068	88,966						964,034
雑費・その他		93,196	6,000	410,036		67,504		16,487	593,223
参加賞		2,870,749		519,750		51,920			3,442,419
コンピューター支援等		2,585,000				495,000			3,080,000
大会種目料返金									-
作成費	24,200	975,000	105,600	3,636,820		53,900			4,795,520
退職者記念品代									-
公式グッズ仕入れ費									-
教本等仕入れ費	348,480								348,480
監視・警備員費		77,000							77,000
大会参加費用		336,970							336,970
登記・証明・出願費用		207,120						44,300	251,420
運営委託・総務費		7,230,291			100,000				7,330,291
支部協力金		12,866,014		13,011,165		100,000			25,977,179
支出合計	7,568,451	100,768,270	3,693,556	32,426,395	261,320	4,542,204	5,315,460	8,984,549	163,560,205
収支差額	-4,081,791	-12,138,348	-1,891,734	43,695,346	-261,320	-2,173,004	-3,038,460	-7,439,424	12,671,265
本部交付金	272,000		1,176,000		1,850,000	1,998,000	2,700,000	7,980,000	15,976,000
本部助成金		6,000,000				1,000,000	2,000,000		9,000,000
差し引き額	-3,809,791	-6,138,348	-715,734	43,695,346	1,588,680	824,996	1,661,540	540,576	37,647,265

監 査 報 告 書

令和7年5月15日

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

会 長 三 宅 泉 殿

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

監 事 西川 良和

監 事 小林 克彦



私は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの、一般社団法人日本スイミングクラブ協会の会計及び業務の監査を行い次の通り報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

- 1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討しました。
- 2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査の結果

- 1) 貸借対照表、正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の損益及び財産の状況を正しく示していると認めます。
- 2) 事業報告書及びその附属明細書の内容は、当法人の状況を正しく示していると認めます。
- 3) 理事の職務執行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

以 上

独立監査人の監査報告書

令和7年5月14日

一般社団法人日本スイミングクラブ協会
理 事 会 御 中

監査法人 不二会計事務所

東京都台東区

代 表 社 員

業務執行社員 公認会計士

水谷



監査意見

当監査法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般社団法人日本スイミングクラブ協会の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度の貸借対照表、損益計算書（公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上